

がんのメカニズムと治療方法

がん細胞の始まりは
遺伝子のコピーミスから



人間の細胞は日々細胞分裂して新しく生まれ変わりますが、**遺伝子のコピーミスにより異常な細胞ができる**ことがあります。この異常な細胞がさらに細胞分裂の際に遺伝子のコピーミスを繰り返すうちに、その一部が**がん細胞**になります。

コピーミスでできたがん細胞の多くは、免疫機能が働くことで消滅しますが、消滅できなかった場合にがん細胞は増加し続けます。

がんの特性

変異

遺伝子の**変異が2段階、3段階と加わる**ことによって、**悪性度を増して**いくのが、がんのやっかいな点の1つです。遺伝子の組み合わせによって、がん細胞には多様な個性があります。例えば抗がん剤によって一時的に効果があったように見えても、生き残ったがん細胞が**変異し、再び増殖する**といったことが起こります。

増殖・転移

がん細胞は、増殖因子をつくり出して自分自身に適した環境を整えることができるといわれています。**がん細胞が増殖し、血液やリンパの流れに乗ってからだのあちこちに散らばる**ことを「**転移**」といい、増殖・転移して正常な細胞を押し除けたり（浸潤）、圧迫したりすることで悪影響を及ぼします。

治療方法 ～知っておきたい「標準治療」～

標準治療とは

がん専門病院などで通常行われる治療を標準治療といいます。「標準治療」は“平均的な治療”という意味ではなく、**治療効果やがんの治療方法の内、科学的根拠に基づいた観点で、多くの患者に行われることが推奨される治療**を指します。**標準治療で行われる治療費は公的医療保険が適用されます。**

がんの三大治療

がんの標準治療の基本的なものとして、「**手術**」「**放射線治療**」「**薬物療法**」の3つがあげられ、**三大治療**と呼ばれています。またこれらを組み合わせて行うことを「**集中的治療**」といいます。

①手術

がんを外科的に除去する治療法です。がん病巣とともに転移している可能性のあるリンパ節も併せて切除します。



②放射線治療

放射線を照射し、がん細胞のDNAを切断することでダメージを与えます。



③抗がん剤・ホルモン剤療法

薬によってがん細胞を消失させたり、増殖することを阻害する治療法です。



その他の治療方法

先進医療

医療機関が**起点**となって先進的な医療を実施するもの（あらかじめ受けられる医療技術や医療機関などの条件が決まっています）

技術料は全額自己負担

患者申出療養

患者からの**申し出が起点**となって未承認薬について安全性が一定程度確認されたうえで、身近な医療機関において実施するもの

技術料は全額自己負担

代理店問い合わせ先

株式会社スズキビジネス
保険事業部

静岡県浜松市中央区篠原町21339

TEL: 053-447-1718

MAIL: af-mail@suzuki-business.co.jp